

最近の外来状況



① スギ花粉症

今年は1月からスギ花粉症の患者さんが来院されています。例年より2—3週間早く症状が始まったようです。2月に入り、外気温が上がるにつれて花粉症を発症した方が増えてきました。「くしゃみ、鼻水、鼻づまり」が主な症状です。目のかゆみ、鼻のかゆみを伴うのがアレルギー性鼻炎(花粉症を含む)です。軽い鼻カゼ(ウイルス性鼻炎)では、かゆみを伴いません。軽症な方は、点眼薬、点鼻薬だけで大丈夫と言われるます。大半の方は、抗アレルギー薬を希望されます。うちは漢方ファンが多いので、漢方薬を主体として治療されている方もおられます。抗アレルギー薬は、多少の眠気、口渇(口やノドの渇き)を伴います。漢方薬には、そういう症状が出ません。両者を上手に併用している方もあります。



(28) 越婢加朮湯

アレルギー性鼻炎(花粉症を含む)で、どうしても鼻がつまる、目がかゆくて仕方がない、そんなときに適宜服用でも可です。目が充血して、かゆみが止まらないときだけ飲んでいる人は多いです。



② インフルエンザ

昨年から引き続きインフルエンザウイルスの流行が続いています。A型から始まって、現在はB型が主流になっています。A型とB型の基本的な症状は同じで、「発熱、頭痛、関節痛」です。B型の典型的な症状では、「下肢の痛み、消化器症状(腹痛、下痢、嘔吐)」ですが、現場ではAもBも大きく変わらない印象です。A型であっても消化器症状が見られるものもあるし、B型でも下腹痛が全く出ないものも多です。抗インフルエンザ薬(内服薬、吸入薬、点滴)、漢方薬が使えます。どれを使っても解熱するまでに、約2日かかります。抗インフルエンザ薬と漢方薬を併用する方がいますが、解熱するまでの時間は変わりません。薬も飲めない、吸入する元気もない方には、点滴で入れる薬もあります。30分以内で治療は終わります。現時点ではインフルエンザによる脳炎・脳症の方は幸いありません。しかし、小児の熱性けいれんは例年より多く、夜間に救急搬送されているケースが目立ちます。インフルエンザウイルスが中枢神経系に作用している(悪化している)証拠です。

③ 急性胃腸炎

ウイルス性胃腸炎は昨年はずっと流行中です。ノロ、ロタ、サボ、アデノ、エンテロなど、多くのウイルスが存在します。嘔吐だけ、下痢だけ、という方もあれば、嘔吐・下痢ともに見られる人、さらに発熱を伴う人もいます。今シーズンは38℃以上の高熱を伴う胃腸カゼが多いのが特徴的です。38℃以上の発熱+嘔吐頻回となれば、一気に脱水になり全身倦怠感が顕明です。点滴を希望される方が多くいます。ウイルスが原因ですから西洋薬では根本的な治療はできません。対症療法としてのぎます(嘔吐→吐き気止め、下痢→下痢止め)、漢方薬が飲める人は使ってください(腸管の炎症を止めます)。



(17) 五苓散

嘔気・嘔吐、下痢に対応します。胃腸炎にかかって「ノドが渇く、気持ち悪い、水分を摂る、すぐに吐く…」を繰り返すときは、五苓散の適応です。「おっこの出が悪い」のも適応です。



④ その他のカゼ

冬〜春のカゼが多いです。寒暖差が激しいので鼻カゼ(ウイルス性鼻炎)が圧倒的に多です。鼻がつまれば、副鼻腔炎(=蓄膿)を起こします。小児でも鼻カゼをひけば、大なり小なり副鼻腔炎を併発していると考えて治療します。コロナは日本では感染症の分類で5類になっていますが、重症度は低く、普通のカゼと同様に扱っています。

⑤ アレルギー性疾患管理表

毎年この季節になると、新学期に向けて「アレルギー性疾患管理表」の記載依頼がドツと来ます。特に「食物アレルギー」に関する記載が多いです。食物の除去に関する指示の確認です。「〇〇を除去して下さい」などの表記が目立ちます。2—3月が書類記載のピークになります。



⑥ 相談ごと

不登校、原因不明の頭痛・腹痛の相談が圧倒的に多です。小学生から中学生まで年齢の幅は広く、相談内容は深刻なものが大半です。一般小児科でできないものは、専門医へ紹介しています。もう1つ増えてきているのは、中学生・高校生の過敏性腸症候群です。特に下痢型が多く、登校途中にトイレに寄る。下痢・腹痛で授業中にトイレに行く等の症状が見られます。受験の際に、試験会場の席についての配慮をお願いした例も何人かおられます(診断書を先に提出して試験会場の席をトイレに近い席に変更してもらう)。



西洋薬を飲めば治るといものではなく、カウンセリング、漢方薬など、あらゆる手段を駆使して何とか症状を緩和するなどの工夫をしています。

お知らせ

休診のお知らせ

3月 2日(土)
3月 6日(土)、26日(火) - 28日(木)
※クリニックの設備工事のため休診します。

岐阜市の 漢方外来

3月 9日(土)
23日(土)
時間: 14:00 - 17:30
場所: 中島小児科(岐阜市健康東町2-1)
※すべて「院外処方」です。

小児夜間急病 センター当番日

3月 8日(土)
時間: 19:30 - 22:30(受付)
場所: 岐阜市民病院